

★注意

- ① リストア時の第1パラメータで指定されたディスクの内容は、MDSKUTYコマンドによってバックアップされたものに限りです。
- ② MDSKUTYはあくまでもバックアップ用のコマンドですので、バックアップをとったフロッピーから起動させることはできません。リストアを行うことにより、再びRAMディスクからの起動は可能です。
- ③ バックアップする先のフロッピーディスクは、必ず空のフロッピーを使用してください。

Q F-BASIC386コンパイラ V1.1 L21をCDで起動し使用しています。Aドライブにあるソースプログラムをコンパイルする時に、実行プログラムをBドライブに保存したいのですが、どのようにすればよいのでしょうか。

A F-BASIC386コンパイラ V1.1 L21のCD-ROMの中に入っている「BC. BAT」の内容を変更することにより可能です。内容の変更方法は次のようになります。

(操作手順)

- ① F-BASIC386コンパイラ V1.1 L21のCD-ROMの中にある「Q:¥BASCOM¥BC. BAT」をドライブAのフロッピーディスクに複製します。
- ② 「Townssystemソフトウェア」の「テキスト編集」を使って、ドライブAの「BC. BAT」の内容を以下のように変更し、保存します。なお、変更するのは、1箇所です。

●BC. BATの内容

```

echo off

echo:
echo コンパイルします。
echo:
q:¥run386 q:¥bascom¥fb386cp -speed -w0 %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9
if errorlevel 1 goto err
if exist %1. $$$ goto err
if not exist %1.obj goto err

echo:
echo リンクをします。
echo:
echo 注意：CD-ROMでのリンクは5分程度かかることがあります。
echo:
echo q:¥bascom¥bsreal.obj > %TMP%1.lnk
echo %1 >> %TMP%1.lnk
echo -exe %1 >> %TMP%1.lnk
                                ↑
                                ここを変更する
echo -386 -tc -stack 77824 -realbreak 2000h >> %TMP%1.lnk
echo -callbufs 5 >> %TMP%1.lnk
echo -lib q:¥bascom¥baslib.lib >> %TMP%1.lnk
echo q:¥bascom¥snd.lib q:¥bascom¥tbios.lib >> %TMP%1.lnk
echo q:¥bascom¥fmc.lib q:¥bascom¥cdr.lib >> %TMP%1.lnk
q:¥run386 q:¥bascom¥tlinkp @%TMP%1
goto bye

:err
echo:
echo エラーが発生しました。

:bye
pause

```

- ③ ソースプログラムを作成し、ドライブAのフロッピーディスクに、アスキー形式で保存します。
- ④ ドライブBに実行プログラムを保存したいフロッピーディスクを挿入します。
- ⑤ F-BASIC386コンパイラ V1.1 L21を起動して、メニューから「コンソール」を実行します。
- ⑥ キーボードから次のように入力し、カレントドライブをAドライブに変更します。

Q > A : ◀

- ⑦ コンパイルとリンクを実行するため、次のように入力します。

A > BC ソースファイル名 ▶

これで、ドライブBに実行形式のファイルができます。

Q Townssystemソフトウェア V2.1をCDから起動し、エンターテイメントのCDプレーヤーを使用して曲タイトルを入力したが、SAVEすることができません。どのようにすればよいのでしょうか。

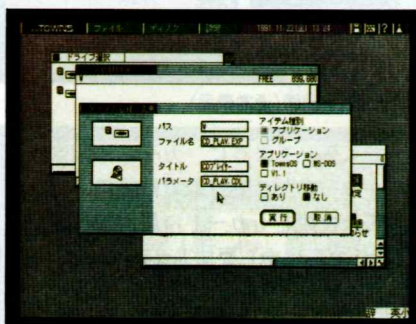
A 入力した曲タイトルをSAVEするには、登録用ファイルを作成する必要があります。CDから起動した場合、曲タイトルを入力してもカレントドライブがCDになっているために保存することができません。そこでフロッピーもしくは、ハードディスクにCDプレーヤーのプログラムと登録ファイルを複製して使用します。

(操作手順)

Townssystemソフトウェアの中のQ:¥T_TOOL ディレクトリの下にある「CD_PLAY. EXP」と「CD_PLAY. CDL」をフロッピーディスクもしくは、ハードディスクに複製します。複製した「CD_PLAY. EXP」をアイテム登録しますが、必ずパラメータに「CD_PLAY. CDL」を設定します。そして、登録したアイテムから起動すると入力した曲ファイルをSAVEできるようになります。

●例 Aドライブのフロッピーディスクに複製する場合

- ① Q:¥T_TOOLの下にある「CD_PLAY. EXP」と「CD_PLAY. CDL」を反転させメニューバーのファイルから複製を選択します。ドライブアイコンをクリックして複製先ドライブAを指定して実行をクリックします。
- ② Aドライブをアイテム表示させ、メニューバーのファイルからアイテム管理を選択して「登録/変更」を実行します。
- ③ ドライブをクリックするとそのドライブにあるファイル一覧が表示されますので「CD_PLAY. EXP」を反転させ実行をクリックします。
- ④ アイテム登録/変更画面に戻ると「ファイル名」と「タイトル」のところにファイル名が記入されます。パラメータに「CD_PLAY. CDL」を設定し(図1)、実行をクリックします。



- ⑤ アイテム登録したCDプレーヤーを実行すれば、入力した曲タイトルが登録できます。

★注意

CDプレーヤー上で入力した曲タイトルは「SAVE」を実行することで始めてファイルに登録されますので、かならず「SAVE」を実行してください。